

プーチン：ロシアはアメリカの制裁に対して、誰も追放するつもりはない

【訳者注】このニュースに何も注を付けることはない。ただ、この欄で今まで再三注目してきた、プーチン対アメリカ（オバマ）の基本的な態度のずれが、今、誰の目にも明らかになったこと、プーチンの報復措置を全く取らないことが、最大の報復になっていること、アメリカは徹底的に恥の上塗りをしていることに注目すべきである。

RT (Russia Today)

December 30, 2016

ロシア大統領は、35人の米外交官を、アメリカの同じ行動に呼応して、追放すべきだという外務省の提案を拒絶した。彼は、オバマの行動は反対行動を挑発するためのものだ、しかしロシアは、そのエサには食いつかないと言った。

「我々には報復する権利がある。しかし、我々はこのような無責任な“台所外交”の類いに、はめられはしない。我々は、次期大統領ドナルド・トランプ政権が取る政策を土台にして、ロ米関係を回復させる更なる動きを取るだろう」と、ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、クレムリンのウェブサイト¹に発表された声明で述べた。[注：kitchen diplomacy を訳せば、〈子供の喧嘩〉か] <http://kremlin.ru/events/president/news/53678>

関連記事：「ロシア外務省は、対抗措置として35人の米外交官の追放を提案」

<https://www.rt.com/news/372248-russia-response-us-expulsion/>

プーチンは、オバマ政権とは違って、ロシアは、新年のお祝いを前にして、外国の外交官とその家族を狙うようなことはしないと言った。

「我々は、その家族や子供たちが、彼らの慣れ親しんだ場所で、新年の祝日を過ごすことを禁止するようなことはない。その上、私は、ロシアの信任状をもったすべての米外交官の子供たちを、クレムリンの新年とクリスマスの祝賀行事に、招待している」と、ロシア大統領は述べた。

プーチンは、米大統領バラク・オバマが「こんなふうに」任期を終えていくとは残念だが、それでも辞めていく米大統領とそのご家族には、新年のご挨拶を送りたいと言った。

「私は、次期大統領ドナルド・トランプと、アメリカ国民のみなさまに、お祝いを申し上げます！」と彼は結んだ。

クレムリンは、政府専用機をアメリカに送り、追放された外交官たちとその家族を救出するだろうと語った。それより前には、こんな短期間の通告では、正月の旅行客で航空便はすでに満席で切符が取れず、外交官たちは困っているという報告があった。

またその前には、ロシア外相セルゲイ・ラヴロフが、ロシアは、アメリカから追い出された 35 人のロシア外交官に対抗して、ロシアから 35 人の米外交官を追放すべきだと示唆した。同様に、一人のロシア外交官を、アメリカの休暇用ハウスから追い出したことについても、同様の措置をロシアのアメリカ人に対して、取るべきだろうと言った。

オバマ大統領は、ロシア外交官を、ロシア人に対するより広い制裁の一部として、処罰の対象にしたもので、彼はこれを、11 月の米大統領選挙にロシア政府が干渉したとされることをもって、正当化している。モスクワはこの主張を否定している。

アメリカの主張によると、この休暇用ハウスはスパイ活動に使われていたのだという。ロシアは、それは大使館員が、家族と休暇を過ごすために使っていたものと主張している。